老健・診療所入所部門(ご本人調査)

ご意見・ご要望	センターの考え方・対応
食堂も部屋もたまに寒い時がある。	全館空調システムを導入しており部屋ごとの細か
	な調整はできませんが、衣類や寝具などでの対応
	を継続します。
部屋の水道の蛇口が高いため、水が	洗面台をすぐに交換することは困難ですが、引き
垂れて袖口が濡れてしまうのでな	続き検討していきます。
んとかしてほしい。	
トイレが他の人と重なると待つこ	待ち時間が長い場合は、共用のトイレにご案内す
とはある。	るなどの対応をしています。
もっとリハビリをやりたい。	専門職による定期的なリハビリと日常生活の中で
	の生活リハビリを合わせて行っています。
職員の対応について	ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませ
・ きつい言い方・強い言い方の時	λ_{\circ}
がある	例年実施している接遇研修に加え、昨年度から「個
・ 人によって、気分によって態度	人の接遇課題と改善目標」を掲げ、自己評価や面
が違う事がある	接などに取組んでいます。接遇は人権という意識
・ 感情的な職員がいる	を共有し取組を継続していきます。
・ 男性の職員はもっと気を遣って	
ほしい	
書道をやりたい。	レクリエーションメニューとして、今後どのよう
	なプログラムが提供できるか検討していきます。

老健・診療所入所部門(ご家族調査)

ご意見・ご要望	センターの考え方・対応
サービス内容や費用について、入所し	ご説明内容を今一度確認します。生活面に関しては、
てから初めて聞くことがあり戸惑っ	入所後ご本人にお伝えしています。
た。	
施設サービス計画書の控えを毎回も	原則、3か月ごとに行われるサービス担当者会議が開
らっているのかわからない。	催されたのちに、ご説明しお渡ししています。
手伝いをされすぎて「過保護」のよう	生活環境が変わったことで慣れるまでの間は安全を優
に感じると本人から感想があった。	先することもあります。一定の期間を経て、ご本人の
事故が起きないための慎重さは理解	ご意向も確認しながら対応していきます。
するが日常の活動の制限に不満があ	
る。	
医師から説明を聞く時間の融通が利	外来診療などで、随時対応が困難な場合もありますが、
かない。	なるべくご希望に添えるよう調整していきます。
部屋の床清掃が行き届いていない。ほ	ご不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。快適
こりがずっとある。	な生活が送れるよう対処していきます。日曜日を除く
	毎日1回清掃を行っていますが、お気づきの点は、職
	員にお知らせください。
駐車場が暗い。	省エネルギーの観点から間引き照明にしておりますの
	で、ご理解の程お願いします。
面会時、立ち話程度に職員から様子が	時間帯によっては、ご希望に添えないこともあります
聞けるとよい。	が、なるべくお伝えできるようよう配慮していきます。

「見たいテレビの途中で車椅子を押	ご本人にご理解いただけるよう対処していきます。
して移動させられてしまう」と本人が	
話している。	
必要以上に大きな声で話す職員がい	ご本人の状況に合わせたお声掛けを今一度確認してい
る。	きます。
職員によって、言っていることが異な	職員間での統一を図っておりますが、今後も継続して
ることがある。	取組んでいきます。
人によって良い方とそうでない方が	ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。
いるように思う。	例年実施している接遇研修に加え、昨年度から「個人
職員に声をかけるが話を最後まで聞	の接遇課題と改善目標」を掲げ、自己評価や面接など
いてもらえないことがある。	に取組んでいます。接遇は人権という意識を職員と共
	有し取組を継続していきます。
衣類の整理は自分でできるようにし	安全に配慮しながら、できるだけご自身で行っていた
て欲しい(本人の希望)。	だけるよう工夫していきます。
食堂への集合時間や消灯時間が早く	ご利用者の状況により、ご不便をかけることもありま
なることがあるようなので時間通り	すが、できる限り配慮していきます。
にして欲しい。	
気分転換でロビーに出た時に職員へ	申し訳ございません。職員間で連携を取り、ご不快な
声をかけているにも関わらず、厳しい	思いをされないよう気を付けて参ります。
口調で確認され嫌な思いをした。	